

ワクチン接種時の注意

- ・原則、住民票のある自治体で接種します
- ・必ず接種予約をしてください。予約方法は、準備が整い次第、市報や市ウェブサイトなどでお知らせします
- ・基礎疾患のある人やワクチン接種に健康上の不安がある人などは、接種の可否や接種場所（集団接種か医療機関）などについて、かかりつけ医にご相談ください



ワクチン接種後も感染予防対策を続けましょう

ワクチンを接種した人は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、他の人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。そのため、感染対策（3つの密の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒のこまめな実施など）を引き続き行ってください。

ワクチン接種に便乗した詐欺に注意！

「市役所職員」などを名乗り、ワクチン接種に便乗して、金銭や個人情報をだまし取ろうとする不審電話が全国で相次いでいます。

国や県、市がワクチン接種のために金銭や個人情報を電話やメールで求めることは絶対にありません。ご注意ください。

不審電話などがあった場合は、南魚沼警察署（☎770-0110）にご相談ください。

ワクチンに関するよくある質問（2月25日時点）

(1) ワクチンの接種でどのくらいの発症や重症化を防ぐことができますか？

ファイザー株式会社のワクチンを接種した人と接種していない人を比較すると、接種した人の新型コロナウイルス感染症の発症率は95%減少し、重症化した人は89%減少したと報告されています。

(2) 副反応にはどのようなものがありますか？

注射部位の痛み・腫れ、下痢、筋肉や関節の痛み、頭痛、疲労、寒気、発熱などが報告されていますが、いずれも接種から数日以内に治まるものがほとんどです。また、重い副反応にはアナフィラキシー（注1）などがありますが、これは接種を受けた人の約20~40万人に1人の割合で生じたと報告されています。アナフィラキシーなどのアレルギー反応には治療薬があり、接種会場で発生した場合には、対処できるよう体制を整えています。アメリカでは、アナフィラキシーが起こっても適切な対処によって全員が回復しています。

注1：アナフィラキシーとは、食物、ハチの毒、医薬品などにより、アレルギー反応が全身の複数の臓器で同時に、もしくは急激に出現すること。医薬品による場合、投与直後から30分以内に起こることが多い。

(3) 副反応が起きた場合の補償はありますか？

予防接種によって健康被害が発生し、治療が必要になったり障がいが残ったりした場合、救済制度が受けられます。救済制度については、医療機関や保健課（☎773-6811）にご相談ください。

【問合せ】

予約に関すること	南魚沼市新型コロナワクチンコールセンター	☎788-0765（3月22日～）
ワクチンに関すること	保健課	☎773-6811

南魚沼市のワクチンの接種に関する最新の情報は、市ウェブサイト（「新型コロナワクチン接種」で検索）をご覧ください

